



平成26年10月31日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
 代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
 (コード番号 3864 東証 第一部)
 問合せ先
 執行役員経理部長 首藤 正樹
 (電話 03-5600-1407)
 広報・IR室長 白川 文人
 (電話 03-5600-1485)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

平成27年3月期連結業績予想の修正

(1) 平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	106,000	200	△500	△2,600	△7.60
今回修正予想 (B)	105,000	△300	△800	△2,100	△6.13
増減額 (B-A)	△1,000	△500	△300	500	
増減率 (%)	△0.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	100,567	△1,176	△1,281	△646	△1.89

(2) 平成27年3月期通期連結業績予想値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	220,000	4,500	2,500	0	0.00
今回修正予想 (B)	215,000	1,500	0	△2,500	△7.3
増減額 (B-A)	△5,000	△3,000	△2,500	△2,500	
増減率 (%)	△2.3	△66.7	△100.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	207,470	473	62	280	0.82

(3) 修正の理由

第2四半期累計期間の業績につきましては、国内市場における印刷用紙の消費税増税後の需要の減少による影響、海外市場における写真感光材料及び情報用紙の市場競争激化の影響等により、営業利益、経常利益で前回発表の予想を下回る見通しとなりましたが、投資有価証券売却益等の計上により当期純損失では予想を上回りました。

また、通期業績予想につきましては、前期から実施している洋紙減産体制の更なる強化、海外市場の回復の遅れ等の影響を勘案し、営業利益15億円、経常利益0億円、当期純損失25億円に下方修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上